



平成23年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成22年7月30日

上場会社名 宝ホールディングス株式会社 上場取引所 東・大
 コード番号 2531 URL <http://www.takara.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大宮 久 (TEL) 075-241-5124
 問合せ先責任者 (役職名) IR室長 (氏名) 木下 勝仁 配当支払開始予定日 -
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月11日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第1四半期の連結業績（平成22年4月1日～平成22年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第1四半期	44,554	△0.7	1,111	17.0	1,167	△1.1	357	△34.8
22年3月期第1四半期	44,874	△0.9	950	△0.0	1,180	2.0	547	△28.4

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
23年3月期第1四半期	1	71	—	—
22年3月期第1四半期	2	59	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円	銭	
23年3月期第1四半期	200,752	104,897	104,897	46.0	444	32		
22年3月期	195,495	109,206	109,206	49.4	459	92		

(参考) 自己資本 23年3月期第1四半期 92,276百万円 22年3月期 96,666百万円

2. 配当の状況

	年間配当金							
	第1四半期末		第2四半期末		第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭
22年3月期	—	—	—	—	8	50	8	50
23年3月期	—	—	—	—	—	—	—	—
23年3月期(予想)	—	—	—	—	8	50	8	50

(注) 当四半期における配当予想の修正有無：無

3. 平成23年3月期の連結業績予想（平成22年4月1日～平成23年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、第2四半期（累計）は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期（累計）	92,200	1.2	2,300	△21.7	2,200	△29.6	800	△53.1	3	84
通期	195,000	2.3	8,800	2.7	8,900	2.0	4,700	0.5	22	59

(注) 当四半期における業績予想の修正有無：無

4. その他（詳細は、[添付資料] P. 3「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動：無

新規 — 社（社名） — 、除外 — 社（社名） —

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用：無

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更：有

② ①以外の変更：無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年3月期1Q	217,699,743株	22年3月期	217,699,743株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

23年3月期1Q	10,020,591株	22年3月期	7,519,781株
----------	-------------	--------	------------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

23年3月期1Q	208,948,676株	22年3月期1Q	211,681,882株
----------	--------------	----------	--------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

平成22年5月11日発表の連結業績予想の見直しは行っておりません。なお、自己株式数の変動に伴い1株当たり当期純利益につき変更しております。本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) セグメント情報	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間の連結売上高は、宝酒造グループ、タカラバイオグループともに減少し、前年同期比99.3%の44,554百万円と若干の減収となりました。一方、原材料価格の安定とコストダウンにより売上原価率が改善し、売上総利益は前年同期比102.2%の17,319百万円となりました。販売費及び一般管理費は、販売競争の激化により販売促進費が増加したものの、研究開発費の減少もあり、前年同期比101.3%の16,207百万円となりました。この結果、営業利益は前年同期比117.0%の1,111百万円と増益となりました。

経常利益は、為替差損益がマイナスに転じたことと、社債発行費の計上があったことにより、前年同期比98.9%の1,167百万円と若干の減益となりました。

特別損益では、資産除去債務に関する会計基準を適用したことによる過年度の減価償却費等を特別損失に計上いたしました。投資有価証券売却益を計上いたしましたので、税金等調整前四半期純利益は前年同期比100.2%の1,118百万円とほぼ前年同期並みとなりました。資産除去債務に係る税効果が認識出来なかったこともあり四半期純利益は前年同期比65.2%の357百万円と減益となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は200,752百万円となり、前連結会計年度末に比べ5,256百万円増加いたしました。増減の主な内訳は、現金及び預金の増加2,337百万円、余資の運用としての有価証券の増加985百万円、新規に連結子会社としたFOODEX S. A. S. (フランス)の取得などによるのれんの増加2,927百万円、上場株式の時価下落による投資有価証券の減少3,085百万円などであります。

負債合計は5月に発行した社債の増加10,000百万円により前連結会計年度末に比べ9,565百万円増加し95,854百万円となりました。

純資産合計は、配当などによる利益剰余金の減少1,431百万円、株主還元策としての自己株式の取得1,178百万円、上場株式の時価下落によるその他有価証券評価差額金の減少1,735百万円などにより前連結会計年度末に比べ4,308百万円減少し104,897百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益1,118百万円、減価償却1,081百万円がありましたが、法人税等の支払額2,500百万円により前年同期間に比べ203百万円支出が増加し553百万円の支出となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、FOODEX S. A. S.の取得による支出3,384百万円に加え、定期預金の預入による支出2,233百万円、余資運用としての有価証券の取得による支出2,000百万円などにより前年同期間に比べ9,413百万円支出が増加し7,638百万円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、社債の発行による収入9,923百万円により前年同期間に比べ10,193百万円収入が増加し7,352百万円の収入となりました。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物は、前連結会計期間末に比べ842百万円減少し32,781百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年5月11日に公表いたしました業績予想の見直しは行っておりません。なお、第1四半期の営業利益等の進捗状況は期初予想を若干上回っておりますが、当社グループは第1四半期の比重が比較的低いため、上期及び通期の業績予想に与える影響は軽微であります。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

記載すべき事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

資産除去債務に関する会計基準の適用

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）および「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

この変更により、営業利益及び経常利益はそれぞれ4百万円、税金等調整前四半期純利益は428百万円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は488百万円であります。

企業結合に関する会計基準等の適用

当第1四半期連結会計期間より、「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成20年12月26日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）、「「研究開発費等に係る会計基準」の一部改正」（企業会計基準第23号 平成20年12月26日）、「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成20年12月26日）、「持分法に関する会計基準」（企業会計基準第16号 平成20年12月26日公表分）及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	33,837	31,500
受取手形及び売掛金	46,586	45,781
有価証券	15,269	14,283
商品及び製品	20,685	20,534
仕掛品	929	876
原材料及び貯蔵品	2,703	2,841
その他	6,586	4,992
貸倒引当金	△57	△65
流動資産合計	126,539	120,745
固定資産		
有形固定資産	42,594	42,941
無形固定資産		
のれん	4,841	1,913
その他	1,986	2,062
無形固定資産合計	6,828	3,976
投資その他の資産		
投資有価証券	17,987	21,073
その他	7,049	7,005
貸倒引当金	△247	△246
投資その他の資産合計	24,789	27,832
固定資産合計	74,212	74,750
資産合計	200,752	195,495
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,248	13,972
短期借入金	10,249	10,140
1年内償還予定の社債	5,000	5,000
未払酒税	7,590	7,939
未払費用	3,062	3,775
未払法人税等	1,132	1,945
賞与引当金	3,191	2,078
その他の引当金	1,772	1,502
その他	6,422	5,309
流動負債合計	51,670	51,663
固定負債		
社債	25,000	15,000
長期借入金	608	579
退職給付引当金	9,577	9,445
長期預り金	6,402	6,391
その他	2,594	3,209
固定負債合計	44,183	34,625
負債合計	95,854	86,289

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,226	13,226
資本剰余金	3,198	3,198
利益剰余金	82,353	83,785
自己株式	△5,829	△4,650
株主資本合計	92,948	95,559
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,271	4,007
繰延ヘッジ損益	△14	18
為替換算調整勘定	△2,929	△2,918
評価・換算差額等合計	△672	1,106
少数株主持分	12,621	12,540
純資産合計	104,897	109,206
負債純資産合計	200,752	195,495

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
売上高	44,874	44,554
売上原価	27,928	27,234
売上総利益	16,945	17,319
販売費及び一般管理費		
販売促進費	5,636	5,828
販売促進引当金繰入額	1,648	1,762
賞与引当金繰入額	603	673
その他	8,107	7,943
販売費及び一般管理費合計	15,995	16,207
営業利益	950	1,111
営業外収益		
受取配当金	180	193
その他	231	138
営業外収益合計	412	331
営業外費用		
支払利息	143	148
社債発行費	—	76
その他	38	51
営業外費用合計	182	276
経常利益	1,180	1,167
特別利益		
固定資産売却益	7	—
投資有価証券売却益	—	412
その他	—	14
特別利益合計	7	427
特別損失		
固定資産除売却損	18	—
投資有価証券評価損	22	—
ゴルフ会員権評価損	21	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	424
その他	8	51
特別損失合計	70	476
税金等調整前四半期純利益	1,116	1,118
法人税、住民税及び事業税	963	1,081
法人税等調整額	△378	△252
法人税等合計	584	829
少数株主損益調整前四半期純利益	—	289
少数株主損失(△)	△15	△67
四半期純利益	547	357

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,116	1,118
減価償却費	1,169	1,081
受取利息及び受取配当金	△222	△207
支払利息	143	148
売上債権の増減額 (△は増加)	△179	△231
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△558	74
仕入債務の増減額 (△は減少)	△392	△927
未払酒税の増減額 (△は減少)	△23	△349
その他	1,290	1,107
小計	2,344	1,814
利息及び配当金の受取額	251	230
利息の支払額	△106	△98
法人税等の支払額	△2,840	△2,500
営業活動によるキャッシュ・フロー	△350	△553
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△102	△2,233
有価証券の取得による支出	—	△2,000
有価証券の売却及び償還による収入	2,492	—
有形及び無形固定資産の取得による支出	△572	△713
有形固定資産の売却による収入	21	21
投資有価証券の売却による収入	—	689
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△3,384
その他	△64	△16
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,775	△7,638
財務活動によるキャッシュ・フロー		
社債の発行による収入	—	9,923
自己株式の取得による支出	△1,370	△1,179
配当金の支払額	△1,424	△1,436
その他	△45	44
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,840	7,352
現金及び現金同等物に係る換算差額	185	△3
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,231	△842
現金及び現金同等物の期首残高	33,666	33,624
現金及び現金同等物の四半期末残高	32,435	32,781

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年6月30日）

	酒類・ 調味料 (百万円)	バイオ (百万円)	物流 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	37,624	3,745	1,999	1,504	44,874	—	44,874
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	235	106	1,896	1,194	3,432	(3,432)	—
計	37,859	3,852	3,895	2,699	48,307	(3,432)	44,874
営業利益又は営業損失(△)	1,299	△246	23	21	1,099	(148)	950

(注) 1. 事業区分の方法

事業区分は、製品の種類・性質に加え販売市場の類似性などを考慮して、酒類・調味料、バイオ、物流及びその他の4事業に区分しております。

2. 各事業区分の主要製品

事業区分	主要製品
酒類・調味料	焼酎、ソフトアルコール飲料、清酒、ワイン、ウイスキー、中国酒、本みりん、食品調味料、原料用アルコール
バイオ	研究用試薬、理化学機器、研究受託サービス、遺伝子工学研究関連特許実施許諾対価料、遺伝子導入関連製品、キノコ、ブナシメジ特許実施許諾対価料、バイオ医食品
物流	貨物運送業、倉庫業、流通加工業
その他	ラベル、ポスター、カタログ、カートン、段ボールケース、包装紙、販促用品、不動産賃貸、健康食品

[所在地別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年6月30日）

全セグメントの売上高の合計に占める「本邦」の割合が90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

[海外売上高]

前第1四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年6月30日）

海外売上高は、連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

[セグメント情報]

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務諸表が入手可能であり、最高経営意思決定機関が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、持株会社体制移行時に新設された事業会社「宝酒造(株)」「タカラバイオ(株)」を中核企業とする各企業グループ、健康食品事業を営む事業会社「宝ヘルスケア(株)」及びその他で構成されており、当社は各事業会社を統括する持株会社であります。各事業会社は、各々取り扱う製品・サービスについて国内あるいは海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、従来の事業の種類別セグメントを基本としながらも、資本系統や経営責任・業績評価の単位を重視し、「宝酒造グループ」「タカラバイオグループ」及び「宝ヘルスケア」の3つを報告セグメントとしております。

「宝酒造グループ」は、主に酒類・調味料製品の製造・販売やこれらの附帯事業（物流など）を行っております。「タカラバイオグループ」は、遺伝子試薬、理化学機器、キノコなどの製造・販売や研究受託サービスを行っております。「宝ヘルスケア」は、健康志向食品などを販売しております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第1四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年6月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	宝酒造 グループ	タカラバイオ グループ	宝ヘルスケア	計		
売上高						
外部顧客への売上高	39,461	3,640	692	43,794	672	44,467
セグメント間の内部売上高又は振替高	266	132	0	399	1,208	1,608
計	39,728	3,772	693	44,194	1,881	46,075
セグメント利益又は損失 (△)	166	△234	△72	△141	△7	△148

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、機能会社グループを含んでおります。

3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	△141
「その他」の区分の損失	△7
セグメント間取引消去	81
事業セグメントに配分していない損益（注）	424
四半期連結損益計算書の四半期純利益	357

(注) 主として持株会社（連結財務諸表提出会社）に係る損益であります。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

「宝酒造グループ」セグメントにおいて、新たに連結子会社としたFOODEX S. A. S. の株式取得に伴い、当第1四半期連結累計期間において、のれんが2,945百万円増加しております。

（追加情報）

当第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。